



# 土岐のよう<sup>区長</sup>な管理者が安全をだめにしている!



### 病院よりも

### 多数の人命を

### あまがる鉄道事業

### JRの安全確保は金に打

チャレンジ・セイフティ運動について一言

立山氏 「八八年、東北本線の貨物転覆事故が発生し、事故続きの中、さすがJRも放っておかず、『チャレンジ・セイフティ運動』をはじめた。しかし、やっていることは、単なるハッパかけである。こんな

お説教よりも、熟練労働者を排除するやり方をやめて全員を運転職場に戻すのが先決でしょう。本質的な対策でなしに、JR製の『事故防止薬』ではダメだ。それは事実が証明している」

管理者は自らの

責任を明確にしろ

立山氏 「『安全は輸送業務のサービスの柱』と言っている。それが本心ならその証しを示すべきだ。組合対策を前面にして、強制配転を行ったり、職場が

では、病院よりも安全が問われているはずだ。そのことについて、管理者の感覚を疑いたい。

JRは本来の使命を忘れ、安全を解体してきていますが、中心的な問題についてうかがいます。

のも言えないような暗い環境だったから、『安全』は育たない。そういうことをやっている。管理者は、労働者や乗客の人命などを考えていないということではないのですか。

JR移行後は、『遅らせるな』『効率第一』である。異常ですね。それに、大きな問題は、運転職場のベテラン労働者を清算事業団に送り、JRに入った者でも組合差別で売店などに配置している。私は、今すぐ、こうした労働者を元の運転職場に戻すべきだと主張している。JRのやり方は、どう考えてもまちがっているよ」

事故が起れば、現場労働者に責任をおしつける、こうした無責任体制を許すと重大事故はくり返されてしまう。徹底した追及が必要と思う」

立山氏 「私は一人の旅の好きな乗客という立場から見て、JRは表面上の安全は危機にひんしていると思う。年中、事故が起っているし、JRの安全に関しては、『疑惑』だらけといえる。当局は国民に、その疑惑をかくしたままだが、実際には相当ピンチであることを黙認している『非常

事態宣言』を出さざるをえないほどに深刻である。しかも、事故を起しても、最高責任者から現場管理者まで、責任一つとっていない。『なだしお』や日航機事故だつて少くともそれなりに責任をとろうとしている。本当に、腹だたいい。

立山氏 「安全確保のためには、要員の配置と環境が最低限必要です。鉄道は、自然状況に大きく左右される。現場労働者がそれなりに経験を積み重ね、その自然の個性を熟知しながら、安全は保たれてきた。現場労働者があぶないかどうか、一番知っているわけですね。それを無視して、一部の管理者や経営者があせい、こうせいとチグハグなことをおしつける。国鉄当時は、危険と判断したら停めて、事故を未然に防ぐことを基本としていた。

## 不良職制追放へ

鉄道事業における安全について、  
どうお考えですか?

立山氏

立山氏

事故が起れば、現場労働者に責任をおしつける、こうした無責任体制を許すと重大事故はくり返されてしまう。徹底した追及が必要と思う」